

META 2023

META 2023

“META”は、この言葉にこめられた「無秩序の」「世代を超えた」「独自の」「変容する」という理念を共有するグループです。日本画を出自としたアーティストたちが、META 的な思考をもって日本画の枠組みを超えた芸術表現を探求しています。

META 展は、団体展などの組織的な仕組みから変容を求めたメンバーによって創設され、日本橋、丸善で1998年に開始しました。2005年に神奈川県民ホールギャラリーへと会場を移すと、空間の物理的な制限が少なくなり、競い合うように巨大な平面を展示するなど、実験的な制作の発表の場へと転換してきました。

神奈川県民ホールギャラリーの大きな空間の中で繰り広げられる意欲的な絵画の実践は、自身の身体を知を越えようと試みるアーティストの欲望でもあります。その欲望も時代とともに変容します。“META”は、その変容する欲望を叶えるユートピアとして存在しながらも、絵画の在り方を問題提起する場ともなるでしょう。

本展では、新たに山本雄教を迎え、METAのアーティストによる空間への新たな挑戦をご覧ください。

◆アーティスト・トーク

- 作品解説など、出品作家によるトークイベント -

2月23日(木・祝) 14:00~

財田翔悟、多田さやか、
千葉大二郎、山本雄教、吉田有紀

3月4日(土) 14:00~

市川裕司、木島孝文、
佐藤裕一郎、土井沙織、中根航輔

◆音楽イベント

2月25日(土)12:00~17:00

音楽家「八木映美と静かな実験」による即興
BGM演奏を、各展示室を巡回しながら行います。

◆八木映美と静かな実験 / 「美術館で聴く音楽」
をテーマに国内外の美術館やギャラリーにて、楽
曲提供や即興 BGM 演奏などの活動を行う。

Facebook: <https://www.facebook.com/people/META/10006914>
Twitter: @metatan2020
Instagram: @meta_art



表紙・裏表紙 / 内面背景 掲載作品 佐藤裕一郎
《The Depth of Silence 部分》2022年 / 紙に黒鉛 / 240×800 cm
《The Depth of Silence II 部分》2022-2023年 / 紙に黒鉛 / 240×800 cm
内面、各作家掲載作品写真は一部出品作と異なります。

神奈川県民ホール

〒231-0023 横浜市中区山下町 3-1
045-662-5901(代表) FAX045-641-3184
<http://www.kanagawa-kenminhall.com>

- みなとみらい線=渋谷駅から東横線直通で35分 横浜駅から6分 日本大通り駅から徒歩約6分 元町中華街駅から徒歩約12分
- JR= 関内駅または石川町から徒歩15分
- 市営地下鉄= 関内駅から徒歩15分
- 市営バス= 芸術劇場・NHK 前下車徒歩2分
- 横浜駅東口バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約25分)
- 桜木町バスターミナル2番のりば乗車(所要時間約10分)
- ※上記のりばから発車するバスはすべて「芸術劇場・NHK前」を通ります。
- 県民ホール有料駐車場(84台)もご利用下さい。
- 指定管理者:(公財)神奈川県芸術文化財団



2023年2月21日(火) - 3月5日(日)

10:00-18:00 入場は閉場の30分前まで ※最終日は15:00閉場 入場無料

神奈川県民ホールギャラリー

市川裕司 木島孝文 佐藤裕一郎 財田翔悟 多田さやか
千葉大二郎 土井沙織 中根航輔 山本雄教 吉田有紀

主催: META 実行委員会
共催: 神奈川県民ホールギャラリー (指定管理者 / 公益財団法人神奈川県芸術文化財団)
問合せ: metareal2016@yahoo.co.jp
※新型コロナウイルス感染症の拡大状況により、開催や会期などの変更を行う場合がございます。
※神奈川県民ホールのホームページをご確認いただいでのご来場をお願いします。
<https://www.kanagawa-kenminhall.com/>



市川裕司 / Yuji Ichikawa

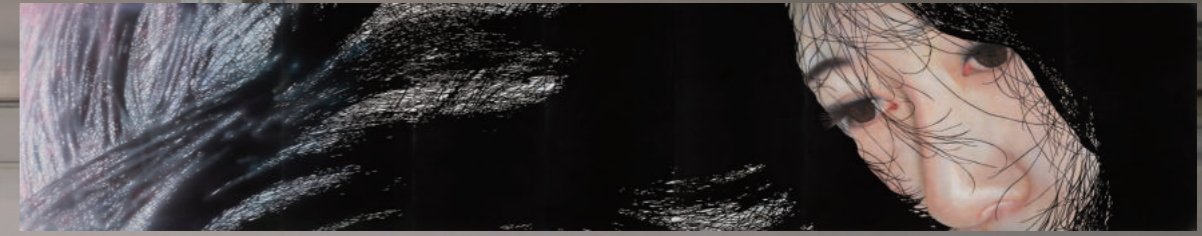
1979年生まれ ●2005 多摩美術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 日本画領域 修了 ●2012 第23回五島記念文化賞 美術新人賞 受賞 (研修先 デュッセルドルフ) ●2015- 慶應義塾横浜初等部 教諭 ●2022 「FLY ME TO THE MOON」(コバヤシ画廊 / 東京)

《EARTHLING I》(部分)2021年 / 196.0×535.2 cm / アクリル塗料、金属箔、樹脂膠、ウレタンフォーム、無反射植毛布 / 「EARTHLING」コバヤシ画廊 撮影：島村美紀

財田翔悟 / Shogo Takarada

1986年生まれ ●2014 東北芸術工科大学大学院 芸術文化専攻 日本画領域 修了 ●2017 第7回トリエンナーレ豊橋「星野眞吾賞展」星野眞吾賞 (大賞) 受賞 ●2022 「財田翔悟展～言葉にかけてはおぼつかないものだから」(佐藤美術館 / 東京) ●2021 第8回東山魁夷記念日経日本画大賞展 入選

《利那》2022年 / 1080×210cm / 綿布、ピグメント、岩絵具、アクリル絵具、箔



山本雄教 / Yukyo Yamamoto

1988年 京都府生まれ ●2010 成安造形大学日本画クラス 卒業 ●2013 京都造形芸術大学大学院修士課程ペインティング領域 修了 ●2020 京都日本画新展 2020 京都市長賞 ●2021 第8回東山魁夷記念日経日本画大賞展 (上野の森美術館 / 東京) ●2021 第8回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展 準大賞 ●2022 たえて日本画のなかりせば：東京都美術館篇 (東京都美術館) ●2022 市制90周年記念展 わたしたちの絵 時代の自画像 (平塚市美術館 / 神奈川県)

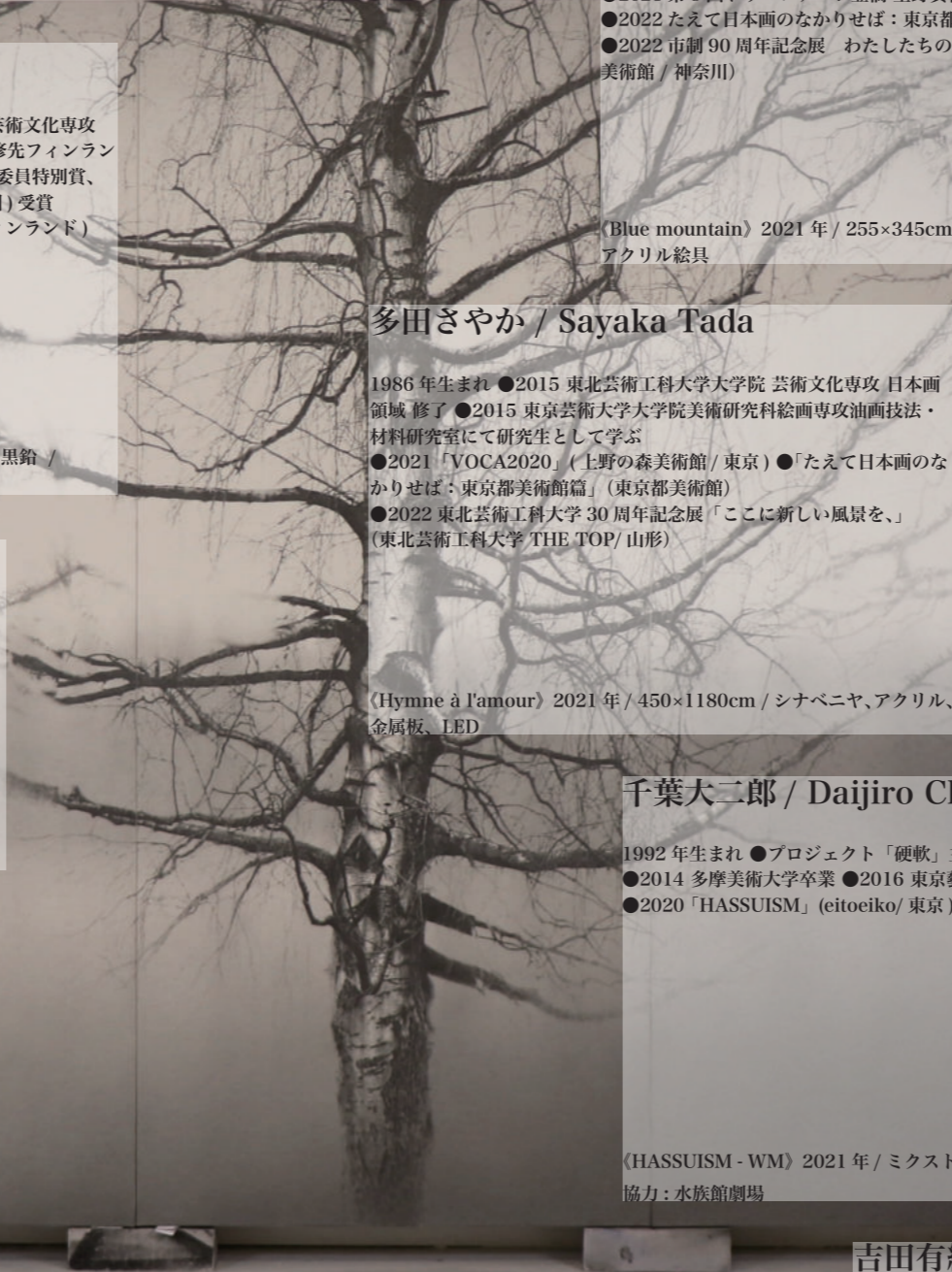
《Blue mountain》2021年 / 255×345cm / プルーシート、金属箔、アクリル絵具



佐藤裕一郎 / Yuichiro Sato

1979年山形県生まれ ●2005 東北芸術工科大学大学院 芸術文化専攻 日本画領域 修了 ●2016 文化庁新進芸術家海外研修 (研修先フィンランド) ●2021 第8回 東山魁夷記念日経日本画大賞展 選考委員特別賞、第13回 創造する伝統賞 (公益財団法人日本文化芸術財団) 受賞 ●2022 個展 Makasiini Contemporary (トゥルク / フィンランド) ●フィンランド ラウカ ー市在住

《The Depth of Silence》2022年 / 240×800 cm / 紙に黒鉛 / Makasiini Contemporary 撮影：Jesper Dolgov



多田さやか / Sayaka Tada

1986年生まれ ●2015 東北芸術工科大学大学院 芸術文化専攻 日本画領域 修了 ●2015 東京芸術大学大学院美術研究科絵画専攻油画技法・材料研究室にて研究生として学ぶ ●2021 「VOCA2020」(上野の森美術館 / 東京) ●「たえて日本画のなかりせば：東京都美術館篇」(東京都美術館) ●2022 東北芸術工科大学 30周年記念展「ここに新しい風景を、」(東北芸術工科大学 THE TOP / 山形)

《Hymne à l'amour》2021年 / 450×1180cm / シナベニヤ、アクリル、金属板、LED



中根航輔 / Kosuke Nakane

1990年 京都府生まれ ●2017 東京藝術大学 美術研究科絵画専攻日本画 修了 ●2019 画のなかとそと 吉野もも × 中根航輔 (ANA インターコンチネンタルホテル東京) ●2019 中根航輔 個展 (東邦アート / 東京) ●2021 META (神奈川県民ホール) ●2021 第8回トリエンナーレ豊橋 星野眞吾賞展 入選 ●2022 体温の痕跡 / 移ろう箱 大橋麻里子 × 中根航輔 (KATSUYA SUSUKI GALLERY / 東京) ●2022 Expand - 日本画を拡張する - (埼玉画廊)

《Hako-niwa #19》2021年 / 高知麻紙、岩絵具、銀箔、寒冷紗 / H95×W193.8×D1cm



土井沙織 / Saori Doi

愛知県生まれ 神奈川県、東京育ち、山形在住 ●2010 東北芸術工科大学芸術文化専攻日本画領域修了 ●2021 FACE2021 読売新聞社賞受賞 (SOMPO 美術館 / 東京) ●2022 魔女見習いの夜 (ARTDYNE / 東京) ●「門は開かれたり」(THE LOOP GALLERY / 東京)

《愛のヘッドロック》2022年 / 183.2×140.2 cm / パネルに寒冷紗、石膏、水干、弁柄、ピグメント、岩絵具



木島孝文 / Takafumi Kijima

1974 東京都生まれ ●2001 武蔵野美術大学大学院造形研究科美術専攻日本画コース 修了 ●2005 武蔵野美術大学バリエーション賞により 渡伯 ●2009 文化庁新進芸術家海外研修制度により 渡伯 (1年) ●2016 文化庁新進芸術家海外研修制度 (短期、40日間) により 渡伯 ●2015 18th DOMANI - 明日展 - (国立新美術館、東京) ●2018 第七回 東山魁夷記念日経日本画大賞展 (上野の森美術館、東京)

《A.R.#996 "Veronica" 魚》2021年 / 273×1092cm / パネルに麻布、タイル、セメント、漆喰、鉄、銀、砂、その他

千葉大二郎 / Daijiro Chiba

1992年生まれ ●プロジェクト「硬軟」主宰 ●2014 多摩美術大学卒業 ●2016 東京芸術大学大学院修了 ●2020 「HASSUISM」(eitoeiko / 東京)

《HASSUISM - WM》2021年 / ミクストメディア 撮影：石井理加 協力：水族館劇場



吉田有紀 / Yuki Yoshida

1971年 神奈川県生まれ ●1997 多摩美術大学大学院 美術研究科 絵画専攻 日本画領域 修了 ●2000 第11回 五島記念文化賞 美術新人賞 受賞 (研修先ロンドン) ●2006 MOT アニュアル 2006 No Border - 「日本画」から / 「日本画」へ (東京都現代美術館) ●2021 個展 カオスとコスモス (フェイアートミュージアム ヨコハマ) ●2023 より神奈川県美術展委員

《式百式》2021年 / 木、ラッカー塗料、ウレタン塗料 / 200ピースの六角形オブジェのインスタレーション (トミノ見ざるの手展 eitoeiko)

